

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年4月20日
認定こども園取手ふたば文化
園長 菊地 さと子

1. 本園の教育目標

めざす幼児像 (1) 健康で元気な子 (2) 友達と仲良く遊べる子 (3) よく考えて行動する子
(4) 最後まで頑張る子 (5) 自然に親しみ思いやりのある子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・「主体性をもって、遊びを展開できるふたばっこ集団」というテーマの元、園内研修日に課題を出して、学びあう。
- ・身に付けて欲しい10の姿を深めていける保育活動の研究の継続
- ・感染症対策を徹底し、自分を守る事は、他者をも守ることを理解できる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	主体性をもって、遊びを展開できるふたばっこ集団	A	日々の活動の中で子どもの姿を捉え、担任同士で保育を公開しあい、話し合いをしていった。それにより担任の工夫や創造性などが楽しい保育活動に繋がることを学べた。
2	身に付けて欲しい10の姿を深めていける保育活動の研究	A	一つの活動の中で、どんな力が身につくのか、分析する事を習慣化していく事により、個々の子どもの成長を感じ取っていくことが出来た。
3	感染症対策を徹底し、自分を守る事は、他者をも守る事を理解できる	B	コロナ禍の状況でも、手洗い、うがい、消毒の徹底が出来、子ども達も習慣として、日々の生活に取り入れることが出来た。今後も継続していく。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	想定外のコロナ感染症に振り回された一年であったが、職員はもとより、保護者と手を携えて園児を守るべく徹底した感染症対策をした日々であった。緊急特別保育が二ヶ月にわたりあったが、子ども達の成長には目を見張るものがあった。こどもの主体性を大切にした保育を実施してきた結果、自ら考え行動できるように意識できるようになった子が多い。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	活動の導入	毎日の保育は、適当にしようとするれば、いくらでも適当に出来てしまう。担任が何の準備もせずいい加減な保育をすると、子どもの姿に表れる。好奇心一杯の生き生きした反応の子どもにする為の導入法を実践し記録に残す。
2	総合的な保育	保育士の得意不得意で、保育活動に偏りがあってはならない。日々の保育を省みて様々な経験を子ども達がつめるよう、指導計画・月案・週案を見直し、園児に対応した計画案を立案していく。
3	感染症対策	3歳以上児は、室内や園バス内ではマスク着用を徹底し、手洗い、うがい、消毒を習慣化していった。家庭にも協力をお願いし、親から子ども達に感染しないよう、努めて頂いた結果、感染症は、一名も出なかった。今後も気を抜かず、子ども、職員の安全を守る。

令和2年度 施設関係者評価

認定こども園 取手ふたば文化 父母の会 会長

園長先生を始め、全ての先生方が いつも明るく元気で、子ども達と共に遊び、笑い、常に寄り添い 時には厳しく子ども達の人格形成の基となる幼児期の保育に全力で取り組んで下さっています。園では子ども達の『主体性』を尊重し、自ら考え行動し、試行錯誤を繰り返して成長していくという自立サイクルが身に付くように導いて下さいます。日々の保育の中で、全ての先生方が一人一人の子ども達に対し、深い愛情を持って接して下さっているのが自然と伝わってきますので、保護者として安心してお任せできます。

広く開放的な園庭で、四季の変化を全身で感じながら 思う存分伸び伸びと遊び、園内の給食室で調理された出来立ての美味しい給食を食べられるという環境にも恵まれ、心身共に丈夫に豊かに成長していきます。

今年度はコロナ禍でのスタートとなり、登園自粛が明けてからも厳しい状況が続きましたが、先生方が出来る限りの対策を施し、工夫を凝らして運動会や発表等の行事も行って下さいました。先生方の『子ども達のために』・『子ども達ファースト』という信念により、今年度も子ども達は元気いっぱい、笑顔が溢れ、楽しい思い出もたくさん出来ました。また、行事の様子は動画配信して下さい、感染症拡大予防の為、参加を自粛した保護者への配慮も大変有り難いものでした。理事長先生や園長先生より適度に注意喚起がなされることで 園と保護者が危機意識を共有し、子ども達を守るため、子ども達の大切なこども園を守るために協力し合えたと思います。

一日も早いコロナ禍の収束と、この先も末長くふたば文化が子ども達の楽園であり続けることを心から願っております。

令和3年 4月
認定こども園 取手ふたば文化
父母の会 会長

開放感あふれる園庭、自然豊かな環境の中、四季を感じながら子どもたちは毎日、のびのびと楽しい園生活を送っています。活気あふれる園では、様々な行事を通して豊かな感性、協調性、チャレンジする力が身に付き、子どもたちはいきいきと輝いています。

園長先生をはじめ、先生方は子どもたちの主体性、ひとりひとりの個性を尊重し、しっかりと自分で考え、最後まであきらめず取り組む姿勢を身に付けてくださいます。結果だけでなく、取り組んできた過程も認め、ほめてくださり自信へと繋げてくださいます。

自園給食を取り入れ、温かい栄養たっぷりの給食は元気な身体づくりの源となっています。送迎バスの方々も、安全を心がけ毎日、子どもたちを笑顔で迎えてくださいます。

『たくましく大地に根をはれ ふたばっ子』のスローガン通り、地にしっかりと足をつけ、次のステージへと自信をもって歩み続けるたくましいふたばっ子へと成長します。

人間形成の土台を築く大事な幼児期にふたば文化で過ごせたことは、子どもたちにとって大きな財産です。子どもたちを第一に考え、子どもたちの樂園を守っていただき感謝しております。

今後ともご指導いただきますようお願い致します。

令和2年度 父母の会 副会長